



「令和7年度群馬県建設事業協同組合の交通並びに作業安全祈願祭」そして新年度の始めに当たり、一言ご挨拶申し上げます。安全祈願が滞りなく終了しました。令和6年度の事業が無事終了できましたこと、県下一円の作業に携わった皆さんのおかげと心から感謝申し上げます。これから、この1年、「どんな小さな事故も起こさない」という強い信念のもと、日々の作業の管理をしっかりと行っていくことを改めてお願いいたします。

最近の業界全体を取り巻く状況をお知らせしておこうと思います。先週の建設業協会の理事会の席でも説明しましたが、大きく分けてふたつの動きがあると思っています。ひとつは、去年の北陸地震のような大きな局所的な災害はなかったものの、結果として幅広い地域で近年にないほど豪雪になったことや埼玉の道路陥没事故に山地火災など、「災害に対する備え」の意識が業界全体で高まった年でもありました。もうひとつは、「時間外労働の上限規制」が始まって1年が経つということです。屋外作業の建設業の働き方と生産性の問題、セットで考えていかなければならない時になったと思っています。

事業協同組合の特色は直接事業に参加できるところが大きな特徴であります。組合としてのメリットを生かしながら効率よい事業を展開していくことが大事です。全国に数多く建設関連の事業協同組合がありますが、ここ群馬の事業協同組合は他県の組合にとって先進事例として参考にする組合に成長しつつあります。組合としての組織を活性化させていくためには、少しずつ組織に変化を与えていくことが大事です。組合独自のホームページを立ち上げて2年目、更新頻度が高いことは実績になりつつあります。社会全体で「賃上げ」の動きが出てきていること受け、今年も組合としても正面から受け止めた対応をしていこうと思っています。

新年度に当たり、どんな小さな事故も起こさないということを確認しあう安全祈願祭も行われました。今年は、群馬県から新たな部長さんをはじめとして2名の新規採用職員が加わり、清掃班並びにパトロール班で5名の方が昇格され、また、永年勤続で2名の方が表彰となります。群馬の協同組合は労働集約型産業そのもの、働く人たち全員で気持ち良く働けることが大事です。令和7年度、毎日の小さなことから改善を積み上げ、しっかりとした成果を出されることをお願いして理事長のあいさつに代えます。よろしくお願いいたします。

令和7年4月1日

群馬県建設事業協同組合
理事長 青 柳 剛